

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

トラック3 カウントダウント

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

ハズミ 身体中、暖かい空氣で満たされている

ハズキ 暖かくて、暖かくて、まるで日向ぼっこしてゐみたい

ハズミ 縁側にお布団敷いて寝転がつて。私達と手を繋いで、
ハズキ 私達と息を重ねて、気持ち良くながつていろ

ハズミ 鳥が飛ぶ
ハズキ しゅーしゅーと虫が鳴く

ハズミ 太陽がポカポカと照りつける。その全てが心地いい。

ハズキ 風が吹く。風に乗つて鳥が飛ぶ。

ハズミ 鳥は広大な空を駆け巡り、やがて私達の元へと降り立つ。

ハズキ 遠くで見たときは分からなかつたけど、とつても大きな鳥。乗つていいよといつてい
るよつです。背中に乗せてもらいましょう。

ハズミ 鳥は私達を背中に乗せて、また飛び立つ

ハズキ そのまま身を任せて大丈夫ですよ

ハズミ ふわふわの羽毛が布団みたい

ハズキ 風に乗つて鳥が高く飛ぶ。どまでも高く、高く飛ぶ

ハズミ 上へ、上へ。どんどん高く、飛んでいく。

ハズキ 高く飛んだ先には雲の上。雲の上はどまでも続く青い空。

ハズミ 青い空の、その更に上には、宇宙が広がつてゐる。私たちが手を繋いで寝転がつて
いることを宇宙は見てい

ハズキ 黒い夜に星が輝く。

ハズミ 星が巡る

ハスギ 赤く輝くあの星をじっと見しめでぐたさ

八三 宇宙に息を吹き込む

ハスキ 宇曲の吐息は銀河の海を越えて、雲を通って、やがて私達の元に届く。宇曲の暖かい吐息を全身で感じる。

バス三 もの一 殿宇苗か息を吹き返す

ハズキ宇宙の吐息は風となり、星をめぐり、暖かい大気になり、私たちを頬を優しく撫でる。たくさんの星を乗せた暖かい風。

バスミ 宇宙の風に乗って、少しずつ地上へと降りていきました

ハズキ 今から100から0へと数え下します
ハズキ カウントダウンに合わせて、地上へとゆっくり落りていきます

100' 99' 98' 97' 96'

06 36 86 16 86 16 86 66 001

ハズミ下りる、下りる、下りて、いへ…おひがり、おひがり、下りて、いへ…

ヘキリ 89' 88' 87' 86' 85' 84' 83' 82' 81' 80
ハズキ おじやん、おじやん、今が机の整理がてら...おじやん...おじやん

ハズナ 79' 78' 77' 76' 75' 74' 73' 72' 71' 70

ハズキ 落ちてこむせ心地が良。風と共に立派だ。

落ちて、心地が良い。風と共に、どんどん、どんどん、墮ちて、それがどうでも心地いい。

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

ハズミ 鳥の羽がおぬでむだまりのお布団みたいに暖かい。

ハズミ 風が吹く、星が囁く。今の全てに季節を感じて。それがすべて季節なんだよ。

バズ!! 私たちは、へそ歛土合ひにこな…歛土合ひにこなのせ心地が良こ。わがへそなぬ
お記録のびー

ハズナ 19' 18' 17' 16' 15' 14' 13' 12' 11' 10
ハズナ 地上へ近づいてやがて、私達のむづかが見えます。少し古びた赤い屋根のむづか。

ハズ!!! 9'8'7'6'5'4'3'2'1
ハズキ 伊田かひ、坂上に降つた。ついで私達はまたやつてやた。落りた。落りた。
る。落りた。

ハズミ・ハズキゼロ

ハズキ
縁側に敷いたお布団の上にぼすん

ハズミ ふわふわのお布団が体を包み込む。とっても気持ちがいいね
ハズキ ふかふか、ふわふわ。気持ちがいい。

ハズミ 風が頬をなでる

ハズミ その全てが心地いい
ハズキ その全てが心地いい

ケモミミ双子メイドの安眠寝かしつけご奉仕

ハズミ 宇宙は一つなんだ

ハズキ 満たされたることは気持ちがいい

ハズミ 気持ちがいい
ハズキ 気持ちがいい

ハズミ 気持ちの良い、夢の続きを探しにいきましょう

ハズキ 次はどうへ行やましようか

ハズミ 私たちはずっとついて行きます。ずっと一緒にです。

ハズキ その前も、その後のこれからも。共にいきましょう。でも今は……おやすみなさい

ハズミ お休みなさい